



平成19年3月期 第1四半期財務・業績の概況（連結）

平成18年8月2日

上場会社名 丸藤シートパイル株式会社
(URL <http://www.mrfj.co.jp/>)

(コード番号：8046 東証第2部)

代表者役職・氏名 代表取締役社長 岩崎 治雄
問合せ先 責任者役職・氏名 市場情報室長 庄司 清志

TEL:(03)3242-7641

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
たな卸資産に関して、実地たな卸を行わず、帳簿たな卸による方法を採用しております。
- ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第1四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年6月30日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	7,119	△2.4	100	—	104	—	96	—
18年3月期第1四半期	7,295	5.5	△48	—	△26	—	△702	—
(参考)18年3月期	35,985		974		1,003		△642	

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第1四半期	2 54	—
18年3月期第1四半期	△18 06	—
(参考)18年3月期	△16 75	—

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期におけるわが国経済は、民間設備投資の増加や個人消費の回復を受け、堅調に推移いたしましたが、原油価格高騰の長期化、ゼロ金利政策の解除観測等もあり、景気の先行きの不透明感は払拭されませんでした。

建設業界におきましては、民間建築部門の拡大はありましたが、依然として建設市場の減少基調は続いており、受注競争の激化、金利先高観等から、収益環境は厳しく、建設市場の傘下にある当建材リース業界におきましても、厳しい経営環境下にありました。

当社グループの売上高は、71億19百万円(前年同四半期比2.4%減)となりましたが、利益面におきましては、賃貸数量の確保、工事部門、加工部門に注力した結果、売上総利益は11億87百万円(前年同四半期比11.5%増)となりました。販売費及び一般管理費10億86百万円(前年同四半期比2.4%減)を計上し、営業利益は1億円(前年同四半期は48百万円の営業損失)、営業外収益34百万円と営業外費用30百万円を加減しまして、経常利益は1億4百万円(前年同四半期は26百万円の経常損失)となりました。特別利益として82百万円、特別損失として1百万円を計上し、税金等調整前四半期純利益は1億85百万円(前年同四半期は、固定資産の減損損失11億58百万円の計上により、11億61百万円の税金等調整前四半期純損失)、法人税等を加減した四半期純利益は96百万円(前年同四半期は7億2百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	40,216	23,206	57.7	612 82
18年3月期第1四半期	39,996	23,544	58.9	607 11
(参考)18年3月期	42,970	23,641	55.0	621 42

(注) 平成18年3月期第1四半期および平成18年3月期の数値につきましては、従来の「株主資本」を「純資産」の欄に、「株主資本比率」を「自己資本比率」の欄に、「一株当たり株主資本」を「一株当たり純資産」の欄に記載しております。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	△358	△84	656	1,469
18年3月期第1四半期	192	△36	△310	1,365
(参考)18年3月期	782	△92	△953	1,256

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末の総資産は前第1四半期末に比較し2億2千万円増加し、純資産は3億38百万円減少しました。その結果自己資本比率は1.2ポイント減少し57.7%になりました。

増減の主なものは、資産の部では、たな卸資産が7億57百万円増加し、投資その他の資産が、5億10百万円減少しております。負債の部では、短期借入金が6億円増加しております。純資産の部では、その他有価証券評価差額金が89百万円、自己株式が2億79百万円それぞれ増加し、利益剰余金が1億48百万円減少しております。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3億58百万円の支出となりました。主なプラス要因は、売上債権の減少額24億44百万円と、たな卸資産の減少額3億63百万円であり、主なマイナス要因は、仕入債務の減少額29億10百万円と、法人税等の支払額4億91百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、84百万円の支出になりました。主なマイナス要因は、有形・無形固定資産の取得による支出95百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、6億56百万円の収入になりました。プラス要因は、短期借入金の純増加額9億円であり、マイナス要因は、自己株式の取得による支出55百万円と、配当金の支払額1億88百万円であります。

以上の結果、当第1四半期における、現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比較し、2億13百万円増加し、14億69百万円となりました。

○ 添付資料

(要約)四半期連結貸借対照表、(要約)四半期連結損益計算書、(要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

[参 考]

平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	15,900	50	10
通期	34,700	900	460

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 12円15銭

[業績予想に関する定性的情報等]

業績予想につきましては、四半期での見直しは行っておりません。従いまして、上記数値予想は決算発表時の見通しであり、実際の業績は、様々な要因によって上記予想と異なる可能性があります。

【添付資料】

(要約)四半期連結貸借対照表

(百万円未満切捨)

期 別 科 目	前年同四半期			当四半期			増 減 金 額	(参 考)		
	平成18年3月期第1四半期末			平成19年3月期第1四半期末				平成18年3月期		
	金 額	構成比	%	金 額	構成比	%	金 額	金 額	構成比	
(資 産 の 部)			%			%				%
I 流 動 資 産										
1. 現 金 及 び 預 金	1,365			1,469			104	1,256		
2. 受 取 手 形 及 び 売 掛 金	13,405			13,362			△ 42	15,806		
3. た な 卸 資 産	13,179			13,937			757	14,301		
4. そ の 他	446			409			△ 36	444		
貸 倒 引 当 金	△ 99			△ 46			52	△ 120		
流 動 資 産 計	28,297	70.7		29,132	72.4		835	31,688	73.8	
II 固 定 資 産										
1. 有 形 固 定 資 産										
(1) 土 地	6,005			6,005				6,005		
(2) そ の 他	2,494	8,499		2,419	8,424		△ 75	2,316	8,321	
2. 無 形 固 定 資 産		107			79		△ 28		75	
3. 投 資 そ の 他 の 資 産										
(1) 投 資 有 価 証 券	1,658			1,800				2,090		
(2) そ の 他	1,871			1,172				1,194		
貸 倒 引 当 金	△ 439	3,091		△ 392	2,580		△ 510	△ 400	2,884	
固 定 資 産 計	11,698	29.3		11,084	27.6		△ 614	11,281	26.2	
資 産 合 計	39,996	100.0		40,216	100.0		220	42,970	100.0	

(百万円未満切捨)

期 別 科 目	前年同四半期			当四半期			増 減 金 額	(参 考)		
	平成18年3月期第1四半期末			平成19年3月期第1四半期末				平成18年3月期		
	金 額	構 成 比	%	金 額	構 成 比	%		金 額	金 額	構 成 比
(負 債 の 部)			%			%				%
I 流 動 負 債										
1. 支 払 手 形 及 び 買 掛 金	8,639			8,448			△ 191	11,359		
2. 短 期 借 入 金	5,480			6,080			600	5,180		
3. 引 当 金	109			133			23	353		
4. そ の 他	1,830			2,047			217	2,048		
流 動 負 債 計	16,060	40.1		16,709	41.5		649	18,941	44.1	
II 固 定 負 債										
1. 引 当 金	244			29			△ 215	139		
2. そ の 他	146			271			124	247		
固 定 負 債 計	391	1.0		301	0.8		△ 90	387	0.9	
負 債 合 計	16,451	41.1		17,010	42.3		559	19,328	45.0	
(純 資 産 の 部)										
I 株 主 資 本										
1. 資 本 金	—	—		3,626	9.0		—	—	—	
2. 資 本 剰 余 金	—	—		5,205	13.0		—	—	—	
3. 利 益 剰 余 金	—	—		15,116	37.6		—	—	—	
4. 自 己 株 式	—	—		△ 1,112	△ 2.8		—	—	—	
株 主 資 本 合 計	—	—		22,836	56.8		—	—	—	
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等										
1. その他有価証券評価差額金	—	—		370	0.9		—	—	—	
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	—	—		370	0.9		—	—	—	
純 資 産 合 計	—	—		23,206	57.7		—	—	—	
負 債 及 び 純 資 産 合 計	—	—		40,216	100.0		—	—	—	
(資 本 の 部)										
I 資 本 金	3,626	9.1		—	—		—	3,626	8.4	
II 資 本 剰 余 金	5,205	13.0		—	—		—	5,205	12.1	
III 利 益 剰 余 金	15,265	38.2		—	—		—	15,325	35.7	
IV その他有価証券評価差額金	280	0.7		—	—		—	542	1.3	
V 自 己 株 式	△ 833	△ 2.1		—	—		—	△ 1,057	△ 2.5	
資 本 合 計	23,544	58.9		—	—		—	23,641	55.0	
負 債 及 び 資 本 合 計	39,996	100.0		—	—		—	42,970	100.0	

(要約)四半期連結損益計算書

(百万円未満切捨)

期 別 科 目	前年同四半期		当四半期		増 減	(参考)				
	平成18年3月期第1四半期末		平成19年3月期第1四半期末			平成18年3月期				
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	金 額	百分比			
		%		%			%			
I 売 上 高	7,295	100.0	7,119	100.0	△ 176	35,985	100.0			
II 売 上 原 価	6,230	85.4	5,931	83.3	△ 298	30,293	84.2			
売 上 総 利 益	1,065	14.6	1,187	16.7	122	5,691	15.8			
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,113	15.3	1,086	15.3	△ 26	4,716	13.1			
営業利益又は営業損失(△)	△ 48	△ 0.7	100	1.4	148	974	2.7			
IV 営 業 外 収 益										
1. 受 取 配 当 金	18		18			30				
2. 連 結 調 整 勘 定 償 却 額	3		—			7				
3. そ の 他	18	39	15	34	△ 5	94	131			
V 営 業 外 費 用										
1. 支 払 利 息	15		14			57				
2. そ の 他	2	18	16	30	12	45	103			
経常利益又は経常損失(△)	△ 26	△ 0.4	104	1.5	130	1,003	2.8			
VI 特 別 利 益	28	0.4	82	1.1	53	60	0.1			
VII 特 別 損 失	1,163	15.9	1	0.0	△ 1,162	1,228	3.4			
税金等調整前四半期(当期) 純利益又は純損失(△)		△ 1,161	△ 15.9	185	2.6	1,347	△ 165	△ 0.5		
法人税、住民税及び事業税	8		8			506				
法人税等調整額	△ 467	△ 459	△ 6.3	80	89	1.2	548	△ 29	477	1.3
四半期(当期)純利益又は純損失(△)		△ 702	△ 9.6	96	1.4	798	△ 642	△ 1.8		

(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円未満切捨)

科 目	期 別	前年同四半期	当四半期	(参 考)
		平成18年3月期第1四半期末	平成19年3月期第1四半期末	平成18年3月期
		金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益(損失△)		△ 1,161	185	△ 165
減 価 償 却 費		72	73	303
減 損 損 失		1,158	—	1,158
引 当 金 の 減 少 額		△ 231	△ 412	△ 110
売上債権の減少(増加△)額		2,231	2,444	△ 169
たな卸資産の減少(増加△)額		273	363	△ 852
仕入債務の増加(減少△)額		△ 2,254	△ 2,910	464
そ の 他		470	380	574
小 計		558	124	1,203
法人税等の支払額		△ 376	△ 491	△ 378
そ の 他		10	8	△ 42
営業活動によるキャッシュ・フロー		192	△ 358	782
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
投資有価証券の取得による支出		△ 10	—	△ 10
投資有価証券の売却による収入		26	—	57
有形・無形固定資産の取得による支出		△ 53	△ 95	△ 148
そ の 他		0	11	8
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 36	△ 84	△ 92
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増加(減少△)額		△ 10	900	△ 310
自己株式の取得による支出		△ 105	△ 55	△ 330
配 当 金 の 支 払 額		△ 194	△ 188	△ 313
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 310	656	△ 953
IV 現金及び現金同等物の増加(減少△)額		△ 154	213	△ 263
V 現金及び現金同等物の期首残高		1,520	1,256	1,520
VI 現金及び現金同等物の期末残高		1,365	1,469	1,256